

## 第28回福井県公民館前期セミナー報告

# 映画を使った地域づくり

期日：平成29年7月13、14日

会場：坂井市春江中コミュニティセンター

今年度の前期セミナーのテーマは、「映画を使った地域づくり」。脚本家の栗山宗大氏を講師としてお招きし、脚本作りから撮影方法、魅力ある講座の作り方を学びました。

1日目のメインは、映画「ふるさとがえり」上映会です。とある事情で映画の助監督を辞めて帰郷した主人公は、久しぶりに再会した幼なじみや地元の人たちと触れ合う中で、新しい人生を模索していきます。しかし、そんな彼に夢であった映画監督としてデビューするチャンスが

舞い込んで来ます。ふるさとと夢、葛藤の末に主人公が選んだのは…。というのがあらずじなのですが、帰郷した主人公が新しい人生を模索する現代と、20年前



講師は脚本家の栗山先生  
(ものがたり法人 FireWorks 取締役)



全国で1,300回以上も上映されている  
映画『ふるさとがえり』

の主人公の少年時代が交互に描かれます。久しぶりの帰郷で周りの人との接し方に戸惑う主人公と、明るく仲間に囲まれ、まさに天真爛漫といった少年時代の主人公との対比が見事で、参加者は映画の中に引き込まれていました。

上映後は栗山先生、越前市神山公民館長の川上氏、研修専門委員長の野辺氏の3人でのトークセッションがあり、市民参加型の映画を作るに至った経緯や撮影



トークセッション  
(右から栗山先生、川上氏、野辺氏)

の裏話、また神山地区での映画制作活動について話し合われました。

トークセッションの後は、さっそく映画づくりを行うグループに分かれて、オリエンテーション。初めて顔を合わせるメンバーがほとんどで、この段階では『本当に映画なんてつくれるんだろうか・・・』と心配だった方々も多かったようです。



1日目から  
グループワークに入ります！



2日目のメインは、ミニ映画づくりと上映会です。起承転結を意識しすぎないという脚本作りのコツや、ビデオカメラは動かさないという撮影に関するコツなどを教わったあと、脚本作りがスタートしました。

9つのグループに分かれ、栗山先生から与えられた「殻をやぶる」という共通テーマと、それぞれのグループごとの個別テーマを基に、みんなで意見を出し合い、アイデアを形にしていきます。自分だけでは思いつかないアイデアが他の人から出ると、一人ではなくみんなで考えるからこそ良いものが生まれるのだとわかります。  
(7ページへ続く)



いよいよ映画づくり！！

(2ページより)

そして撮影に。各グループに1つずつタブレットが配られ、ビデオカメラとして使用しました。撮影のために、会場のコミュニケーションセンターだけではなく、近くのショッピングセンターや公園にまで足を運ぶグループもありました。

映画完成後は、各グループの映画をみんなで見賞です。どの映画も工夫とおもしろさがあり、内容は真面目なものから喜劇的なものまで様々。自分たちの作った映画が上映されれば、周りの反応に気を配ります。他のグループの映画が上映されれば、参考になる点に感心したり、おもしろさに思わず笑ってしまったりと、有意義で楽しい時間を共有しました。初対面のメンバーと一致団結し、限られた時間の中で作品を作り上げることで、これまで経験したことのない達成感を味わうことができ、実りの多い二日間となりました。



タブレットを使いこなして…



「へ～んしん！！」

思い思いの場所で撮影です！



無事に全グループの作品が上映会に間に合いました。



『嫁子』～！  
(主演女優賞です。)

◇セミナー参加者の感想より◇

私は、今回のセミナーの研修内容が映画作りだと知ったとき、難易度が高そうだなと思いました。何しろ、映画作りの時間は3時間だけです。いくら撮影時間の短いミニ映画といっても、素人の集まりが作れるものとは思えませんでした。私以外の人たちも、きっと同じように考えていたのではないのでしょうか。

しかし、実際に撮影を行ってみると、全てのグループが時間内に映画を完成することができました。しかも、時間に追われて内容を犠牲にしたグループはありません。まさに「案ずるより産むが易し」。

また、印象的だったのは、終了後に楽しかった、こんな研修だったらまた参加したい、といった声があちこちから聞こえてきたことです。普段なかなかできない貴重な体験ができました。企画、運営に携わった研修専門委員の皆さん、本当にお疲れ様でした。



第1回 県公連映画祭グランプリは  
“未来工房(Gグループ)の  
『プロポーズ大作戦』！名作です！”



二日間のセミナー、お疲れ様でした！！